

一般社団法人 薬学教育協議会
第 72 回理事会議事録

日 時：2024(令和 6)年 3 月 15 日 (金) 13:00~14:45

(Zoom による WEB 会議)

会 場：(ホスト会場) 薬学教育協議会事務局

出席者：別記 1

配付資料：別記 2

○定足数について

第 11 期理事 19 名中 14 名の理事が出席しており、定款第 37 条に定める定足数を満たしているので、本理事会は成立すると本間代表理事が宣言した。

○議案

1. 2024(令和 6)年度事業計画 (案)

資料 1 に基づき、2024(令和 6)年度事業計画 (案) について本間代表理事が説明した。病院・薬局実務実習に関わる事業では、例年通りの事業のほかに、改訂版ガイドラインに対応した実務実習 WEB システムの改訂作業を開始する。その他の事業では、薬学教員名簿の作成や就職動向調査等、例年通りの事業を継続するほか、2023(令和 6)年度の文部科学省調査研究により作成した教育用 e-learning コンテンツを薬学系大学へ提供し、活用を促す。また、文科省委託事業「大学における医療人養成の在り方に関する調査研究」の 3 年目の事業として、資料 1 P.2「8. 文部科学省委託事業」に記載の事業を計画している。各支部の事業計画も令和 5 年度の事業を継承するものとなっていることを説明し、詳細は割愛した。

実務実習の延長(追加実習)について検討するという内容を、病院薬局実務実習に関わる事業内に記載した方が良いのではないかと意見が出され、検討すると本間代表理事が回答した。

2024(令和 6)年度事業計画 (案) は記載箇所を修正することで承認となった。

2. 2023(令和 5)年度補正予算案

資料 2 に基づき、2023(令和 5)年度補正予算案について、関藤事務局長が説明した。第 71 回理事会において補正予算案を諮り承認を得ていたが、会費収入(新設薬学部 2 校分)については 2024(令和 6)年度の予算に計上すべき事項であったため、今回該当箇所を訂正した。また、関東支部より、2023(令和 5)年度補正予算が提出された。

2023(令和 5)年度補正予算案は、異議なく承認された。

3. 2024(令和 6)年度予算案

資料 3 に基づき、2024(令和 6)年度予算案について関藤事務局長が説明した。2024(令和 6)年度予算案の収入に関しては、「会費収入」は新設薬学部 2 校分を計上している。「認定審査料」の算出は、指導薬剤師の認定申請者のうち、更新申請者分は認定期限を迎える人数の、新規申請者分

はワークショップ参加者数のそれぞれ6割（現状の割合）が申請をするものとして計算した。

また、文部科学省委託事業のひとつが2023(令和5)年度で終了するため、1,000万円の減額となる。2024(令和6)年度事業計画案のなかの「教育用eラーニングコンテンツの提供」に関する事業は新規事業であり、現時点では収入額の予想がつかないため項目のみ記載した。10月の理事会で補正予算案として提出する予定である。

支出に関しては、認定実務実習指導薬剤師管理システムの改修額として200万円を計上した。その他については実情に合わせて予算額を調整した。

各支部では、それぞれの実情および2024(令和6)年度事業計画案に合わせ、予算案を作成した。

各支部の2024(令和6)年度予算案は大きな変化は無いため説明は割愛した。2024(令和6)年度予算案は異議なく承認された。

4. 新設薬学部への加盟について

2024(令和6)年4月に薬学部を開設した順天堂大学薬学部より薬学教育協議会への加盟申請があった。順天堂大学薬学部への加盟については異議なく承認された。

国際医療福祉大学成田薬学部から加盟を見送ると連絡があった件について協議した。薬学教育評価機構へも「状況を見て加盟する」との申し出があったと西島理事（薬学教育評価機構 理事）が報告した。

理事会としては、業務執行理事会での結論と同じく「設立年度に協議会の目的・事業に賛同いただかず、入会いただけなかった場合には、今後も賛同いただけないものとする。したがって、今後申請があったとしても入会をお断りすることとなると考えられる。」との考えで一致した。今後、本間代表理事を中心に、加盟してもらうように働きかけることで意見が一致した。

○協議事項および報告事項

1. 文部科学省委託事業について

資料5-1、5-2、5-3に基づき、本間代表理事が説明した。

<大学における医療人養成の在り方に関する調査研究委託事業>

「臨床における実務実習に関するガイドライン～薬学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）対応～」説明会の動画をYoutubeにてオンデマンド配信していることを紹介した。

<薬学教育モデル・コア・カリキュラム改訂を踏まえた調査研究>

「情報・科学技術を活かす能力」に関するe-learning教材と「総合的に患者・生活者をみる姿勢」に関する教材を共有し紹介した。

大学が利用するにあたっての利用方法や料金についても本間代表理事が説明し、異議はなかった。

2. 病院・薬局実務実習推進委員会の報告

資料 6 に基づき、設置の経緯と第 1 回委員会（2023.12.11 開催）について本間代表理事が報告した。

3. 認定実務実習指導薬剤師認定事業について

資料 7 に基づき、事務局が認定状況について報告した。

4. 病院・薬局実務実習中央調整機構委員会の報告

資料 8 に基づき、本間代表理事が報告した。

5. 2024(令和 6)年度会議日程について

資料 9 のとおり、2024 年度も予め開催日を決めて実施すること、またハイブリッド開催を予定していることを本間代表理事が説明した。

以上、相違ありません。

2024 年 3 月 25 日

一般社団法人 薬学教育協議会

代表理事 本 間 浩
(押印済み)

監 事 齊 藤 勲
(押印済み)

別記 1

一般社団法人 薬学教育協議会 第 72 回理事会出席者名簿

	氏名 (敬称略)	所属・役職	出欠
代表理事	本間 浩	薬学教育協議会、北里大学 名誉教授	○
専務理事・ 業務執行理事	亀井 美和子	帝京平成大学薬学部	○
業務執行理事	北川 裕之	神戸薬科大学	○
業務執行理事	鈴木 匡	名古屋市立大学大学院薬学研究科	○
業務執行理事	平田 收正	和歌山県立医科大学薬学部	欠席
理事	太田 茂	和歌山県立医科大学薬学部	○
理事	森部 久仁一	千葉大学大学院薬学研究院	○
理事	越前 宏俊	明治薬科大学	○
理事	中村 明弘	昭和大学薬学部	○
理事	山本 恵子	昭和薬科大学	欠席
理事	赤路 健一	京都薬科大学	欠席
理事	神野 透人	名城大学薬学部	○
理事	井上 圭三	一般社団法人 日本私立薬科大学協会	○
理事	岩渕 好治	公益社団法人 日本薬学会	○
理事	山本 信夫	公益社団法人 日本薬剤師会	○
理事	武田 泰生	一般社団法人 日本病院薬剤師会	欠席
理事	西島 正弘	一般社団法人 薬学教育評価機構	○
理事	白幡 晶	城西大学 学事顧問	○
理事	富岡 佳久	東北大学大学院薬学研究科	欠席
監事	三輪 亮寿	三輪亮寿法律事務所	欠席
監事	齊藤 勲	元厚生省大臣官房	○
顧問	百瀬 和享	昭和大学名誉教授	○

別記 2 配付資料

資料 1 : 2024(令和 6)年度事業計画 (案)

資料 2 : 2023(令和 5)年度補正予算案

資料 3 : 2024(令和 6)年度予算案

資料 4 : 加盟申請書、調整機構利用計画 (順天堂大学薬学部) *資料一式 郵送済み

資料 5-1 : 「臨床における実務実習に関するガイドライン

～薬学教育モデル・コア・カリキュラム (令和 4 年度改訂版) 対応～」

資料 5-2 : 実務実習ガイドライン説明会 次第

資料 5-3 : e-learning 教材利用希望調査の件

資料 6 : 第 1 回病院・薬局実務実習推進委員会 議事録

資料 7 : 認定実務実習指導薬剤師 認定申請・審査状況

資料 8 : 第 49 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会 議事録

資料 9 : 2024(令和 6)年度会議日程 (案)

参考資料 : 第 71 回理事会 議事録